

種名	<u>ヤマアカガエル</u> <u>Rana ornativentris</u> 
分類	無尾目アカガエル科アカガエル属
俗称	アカガエル
形態的な特徴	体長は、オス4～6cm、メス4～8cm。体背面は褐色、赤褐色、暗褐色と変異がある。ふつう、のどと体側部に黒い斑点が散在する。背側線は鼓膜の後方で外側に大きくカーブしている。
分布	本州、四国、九州、佐渡島に分布する。
繁殖行動	早春に繁殖を開始するカエルであり、暖かい場所では1月下旬、北国では4月頃に繁殖が行なわれる。繁殖場所は、早春でも水が溜まっているような湿田や湿地などで、日当たりの良い浅い止水に産卵する。2種が同所的に生息する場所では、産卵時期、産卵場所が重なることもある。卵塊は黒い卵の入ったゼリー状の塊りで、一度に産み出される。卵塊は押しつぶしたような球形をしている。卵塊のゼリー層は粘りけがある。産卵を終えた成体は春眠し、5月頃から再び活動を開始する。卵から孵化した幼生は初夏に変態し、上陸する。成体や上陸した幼体は、繁殖場所近くの草むらや森林の林床で昆虫やミミズなどを食べて生活し、冬季は落ち葉の下や水底の泥の中で冬眠する。成熟まで2～3年かかる。
生息場所	平地や丘陵地にも生息するが山地に多く、標高2,000m近い高地にまで達している。
食性	昆虫やミミズなどを食べる。
生息環境への配慮事項	近年の乾田化に伴い、産卵時期である早春に水田に水が溜っているような湿田は激減している。そのため本種の繁殖場所が失われ、各地で個体数が減少している。両種とも早春に産卵することから、この時期に安定した浅い水域があることがある必要がある。
引用文献： http://www.maff.go.jp/nouson/mizu_midori/menu/main.html を改変	